

コンビニエンスストアや買取フランチャイズなどをそれぞれ複数店展開するだけでなく、近年では訪問看護ステーションや訪問介護事業所、居宅支援事業者や有料老人ホームなどの経営など、幅広く事業を展開しているのが、あいのこころ(静岡県浜松市)だ。そんな同社が、次なる事業として目を付けたのが、放課後等デイサービス事業だ。

あいのこころを経営する柳原正久理事長が放課後等デイサービス事業に参入したのは、昨年の8月。それまでも同じ福祉領域の介護事業を手掛けていたこともあり、参入に際して特段二の足を踏むことはなかった。

むしろ柳原理事長が着目していたのは、「成長産業」であるかどうか。それまでもコンビニエンスストアや古物買取といった、全く異なる業界で事業を行ってきた柳原理事長にとっては、その点が一番のポイントとなった。

「少子高齢化と言われていますが、一方で障害児童という枠組みで見ると数が増加している。需要は確かですか

ら、受け入れる体制さえ整えば、成長が期待できる業界だと思いました」
また初期投資も低く、介護同様、事業収益の9割が国からの報酬でまかなわれるため、景気に左右されず安定性がある点に惹かれたという。

こうして放課後等デイサービス事業への参入を決意した柳原理事長だが、現在開設する「UNIMO」を選んだ理由は、明確に特徴を打ち出している点にあったという。具体的には、同社が手掛けている「運動療育プログラム。UNIMOでは顧問理学療法士と作業療法士が開発した運動療育と生活プログラムの二本柱が特徴となっている。これはたとえは、発達障害の子どもは情報を処理する能力が上手く発達していないことから、運動を通じて感覚に刺激を与え、情報を整理するというものだ。

この充実したプログラムの内容やマニュアル化されたオペレーション、運営ノウハウやSVによる臨店支援など、総合的な能力値の高さが魅力となった。

「他のFCも検討しましたが、UNIMOは『誰に対して、なぜ、何をするか』のコンセプトがシンプルで、非常に分かりやすかったのが一番の決め手でした。私自身が分かりやすいと感じるというところは、ご利用頂くお子さんや保護者の方にも分かりやすいはずですから」

開業前後のサポートの結果 10カ月で黒字化

昨年の8月に一事業所目を出店してから、わずか1年で3事業所まで拡大した同社。開業前から本部指導の下、内覧会や保護者向け説明会な

どを実施することで、順調に利用者を獲得してきた。

また実務ベースでも許認可申請の手続きサポートや座学研修・オペレーション指導の支援があり、開設後はSVの定期臨店や運営課題のヒアリング、制度・法令改正に関わる情報提供などのフォローもあるため、軌道に乗りやすかったと柳原理事長は話す。実際に事業も開始10カ月で黒字化し、今後はストックでの収益が積み重なっていく予定だ。

「療育を通じて、利用者の方たちが日々成長する姿を見ていると、自身も社会貢献の一役を担っていると実感できます。事業所で働くスタッフもお子さんの成長、保護者の方から喜ばれることで、仕事のやりがいやモチベーションにつながっているようです」

owner 5

運動発達支援スタジオ
あいのこころ

UNIMO 上西・浜西郵便局前・浜北小林

柳原正久

オーナー (57) ●あいのこころ/理事長

わずか1年で3事業所を開設 明確な「運動療育」に魅力



オーナーになった理由

景気に左右されず、安定性がある業界という点に惹かれた。そのなかで明確な特徴を打ち出している「UNIMO」に魅力を感じ開業。

オーナー年表

1960年

静岡県浜松市生まれ
トヨタ自動車経営のトヨタ学園を卒業後、トヨタ自動車、酒類商社で勤務

1986年

26歳で大手コンビニエンスストアチェーンのFC加盟店となる。その後はコンビニを3店舗経営する傍ら、他業種のFCにも加盟

2018年

「UNIMO」をはじめ、有料老人ホームやデイサービス、訪問看護や訪問介護、居宅支援事業所、エステティックサロンなどの経営を行っている

開業データ

開業資金: 2000万円
(うち1000万円が運転資金)

黒字化年数: 10カ月

開業年: 2017年

事業所数: 3事業所

月商: 約200万円

目標月商: 250万円

本部概要

社名: アスリード

所在地: 東京都豊島区